

## 会議概要

件名	第3回 第二次新潟市下水道中期ビジョン（改訂版）検討委員会	
日時	令和5年11月9日（木） 午後2時から4時30分	
場所	市役所本館6階 第2委員会室	
出席者	委員	五十嵐委員、田嶋委員、中島委員、松井委員、吉川委員、和田委員、渡邊委員
	事務局	【下水道部】帆苅部長、【経営企画課】渡邊課長、阿部課長補佐、【下水道計画課】西山課長、佐藤課長補佐、【下水道管理センター】古俣所長、【下水道管理センター施設管理課】藤井課長、【東部地域下水道事務所】山口所長、【西部地域下水道事務所】中島所長
議事要旨	議題1 第2回検討委員会の意見概要について	
	第2回検討委員会での意見概要とその対応案について事務局から説明	
	議題2 各施策における指標について	
	<p>第二次新潟市下水道中期ビジョンの改訂について、第2回検討委員会での意見を踏まえた見直しの内容と各施策の指標を事務局から説明</p> <p>● 委員からの主な質問・意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・管渠の改築延長について、年間7kmでは改築を終えるまでに100年かかる。東京都では、全管渠に対してライフサイクルコストが1番小さくなる期間を80年と試算し、その期間で管渠全体を改築できるよう計画している。管渠の評価次第であるため新潟市でもそのまま適用できるわけではないが、効率的に予算を使っていくためにも試算は必要だ。</li> <li>・ストックマネジメントについて、現ビジョンでも2ページを使って説明されているが、もう少し具体的でわかりやすい記載にできればよいと思う。</li> <li>・当初の見込みよりも整備費の実績額が減っているのは、整備事業の選択と集中を当初の想定よりも進めたということか。それとも、当初は十分に検討しきれていなかったのか。 → 整備費が下がったのは主に施策1が要因です。施設の改築において、更新年度が比較的短い健全度1の電気設備を中心に実施してきましたが、電気設備は対象となる施設数は多いものの、事業規模が小さいために整備費が減少しました。</li> </ul> <p>なお、急増する老朽化施設の故障リスクに対応するため、施策1の指標である健全度1設備への対応と併せて、リスクの高い健全度2設備の対策も進める考えです。また、事業規模の大きな機械設備への対応も必要なため、施策1の指標である改築数がこれまでより減少し、目標値を下方修正することとなりますが、重点的に予算配分を行い、予防保全型の維持管理と管理施設全体のリスク低減を図っていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施策2「③主な取組み」の浸水対策マスタープランは、気候変動の影響も考慮された内容となっているか。 → 気候変動の影響も考慮しつつ浸水対策マスタープランの作成に取り組んでいきます。</li> <li>・管渠の耐震化率は、分母を明示したほうがよい。</li> <li>・施策5では脱炭素化の推進として、太陽光発電の導入や温室効果ガスの発生メカニズムの検討があげられている。改築に併せた脱炭素化の推進は施策1で挙げられているが、実際にはこちらの占める割合の方が大きいため、脱炭素化の項目内に、省エネ機器の導入や消化ガス発電量の増加など、施策1関連の事業も手厚く記載したほうがよい。</li> <li>・施策5は事業費についても同様で、施策別事業費が0億円となっており、何もしていないように誤解を与える可能性があるため、施策1に含まれる関連事業費を施策5に記載するなど表現の工夫が必要である。</li> </ul>	

<p>配布資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次第</li> <li>・日程（案）</li> <li>・議事資料</li> </ul> <p>第2回検討委員会意見概要</p> <p>第二次新潟市下水道中期ビジョン（改訂版） 見直しの方向性</p> <p>第二次新潟市下水道中期ビジョン（改訂版） 各施策の取組み</p> <p>第二次新潟市下水道中期ビジョン（改訂版） 各施策の指標</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・座席表</li> </ul>	
<p>傍 聴</p>	<p>1 人</p>	<p>報 道</p>	<p>3 人</p>